

エネジン(浜松市中区)にて防災対策セミナーを開催

エネジン「防災対策セミナー」に地場企業が参集

— 昨年の台風停電で問合せ殺到、BCP策定・発電機選択等を研修—

エネジン側は9日、静岡県浜松市の本社・別館等で「防災対策セミナー」を開催した。昨年の台風24号による大規模停電以降高まった非常用発電機のニーズに対応する内容で、銀行、保険、工場等の関係者約50人が参加した。

同社では地域インフラを担う会社としてBCP策定と各LPガス出荷拠点への発電機の配備に着手し、エネルギー業界では初のレジリエンス認証を取得している。また、全社員が災害時にも安心して職場で従事できるよう、自宅・家族の防災対策を促す「家庭の防災コンテスト」を実施し、優秀賞を社内にポスター掲示する取組みなども行ってきた。

今回のセミナーでは、同社の様々な取組みがわか

るよう、社屋各所に紹介コーナーが設けられた。

〔研修内容〕〈事業継続計画(BCP)策定セミナー/松井裕一朗ミネルヴァベリタス(株)社長〉▷南海トラフ巨大地震から見た東海地震：150年以上発生していないため、連動型大地震はいつ起きてもおかしくない▷企業防災の安全確保と事業継続・関係者保護▷様々な災害リスクの平時分析▷BCPの策定：プロセス、ポイント、浜松市におけるリスク、事業継続能力調査、従業員の防災対策、帰宅困難者対策、自治体優遇制度の活用、金融機関同制度の活用、文書化と検証(演習)、教育▷製造業者のBCP発動事例〈発電機説明会/高橋泰雄氏デンヨー(株)〉▷LPガス発電機開発の経緯とLPガスの災害対応力▷デンヨー製

品の特長①キュービカル構造により保有距離(建物外壁面から必要な一定距離)600mmは最小②静音性(56~61dB)③停電から送電まで全自動(40秒)など▷導入事例:社会福祉法人、大学体育館(避難所)、病院、銀行(避難受入れも想定)、店舗(米穀店、パン屋)、ビル ※この他、「働き方改革」の見学会も行われた。

〈藤田源右衛門エネジン社長のコメント〉昨年の台風24号による30万件に及ぶ停電を経験した地域事業者はBCP策定や非常用発電機等の設備の必要性を真剣に検討し始め、当社に多くの問合せが寄せられるようになった。今回のセミナーはこの機会に専門的な研修の場を提供し、実例としてエネジンのBCPについて見学して頂くこととしたもの。今後共、非常用発電機等の普及や地域防災に貢献していきたい



セミナーの様子



LPガス発電機

災害バルク



緊急車両

飲料水タンク



防災用具備蓄倉庫



倉庫内部



簡易トイレ



防災コンテスト「優秀賞」の事例をポスターで紹介

エネジンは、地域インフラを担う会社としてBCP策定と各LPガス出荷拠点への発電機の配備に着手し、エネルギー業界では初のレジリエンス認証を取得！ 今後、一層地域防災力を高めていくため、非常用発電機等の普及や地域防災に貢献していきます。

平成31年(2019年)2月15日(金)

石油ガス・ジャーナル掲載